

試合結果

7月24日(木) 対越谷南高校

第1試合 5対4 勝利

第2試合 変則的に実施
(5イニングを2セット)

7月26日(土) 対富士見高校

第1試合 5対14 敗退

第2試合 途中まで

今季通算成績 1勝 1敗 1分

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R7. 7. 28

発行ナンバー 1201号

伊奈学から刺激

公立で唯一県ベスト8に残った伊奈学園総合高校(以下、伊奈学)からは大いに刺激を受けました。選手やチームに対して失礼な表現になってしまったら申し訳ありません(先に謝罪しておきます)。

チーム自体が(市高と同じ)普通の高校生集団だと感じたからです(公立高校の中でも私立同様、あるいは私立に近い戦力で戦っているチームがあると思っています)。伊奈学に関しては選手個々の力以上を監督の富澤先生が引き出していると私は思います。

トーナメントの勝負というのは、相手より1点でも上回れば勝ちです。選手個々の力で圧倒して勝つ試合もありますが(それは単純に個々の選手が素晴らしいだけ)、今回の伊奈学のように接戦ばかりを勝ちあがるとなると話は別、これは間違いなく監督の「采配力」なのだと思います。

試合中、県の理事ということもあり、スタンドより近くでチームの様子を感じることが出来ます。熱さと冷静さ、共にバランスよく発揮していて上手な采配だなと感じます。(自分達より力のある私立と戦わなければならない)公立高校の指導者は、熱いだけでもダメ、冷静なだけでもダメというのが私の考えです。

市高はベスト32、伊奈学はベスト8、その差を噛み締めながら、自分自身の采配力向上に努めたいと思います。

個々の能力以上にチームの力を発揮させる指導者になりたいです。

体験入部で・・・



25日(金) 学校全体での説明会や体験入部が行われました。野球部は上限設定人数に達しての体験入部実施となりました(暑い中、来校していただき、本当にありがとうございました。今回申込みできなかった方、8月5日(火)、8月24日(日)にお回り下さい)。

こんなことがありました。

この日の体験入部参加者から「僕のこと覚えてますか・・・」そんな感じで聞かれました。当然覚えていません・・・実は3年前(小6時)、夏の埼玉大会開幕試合時に始球式を行った子で、その際、その担当をしていた私に声を掛けられたそうなのです(今後勉強も頑張って「市立浦和」に来いよ)。中学校生活、本当に勉強を頑張り、とりあえず体験入部には来られました(引き続き頑張って入学できるようにします)。

何気ない一言が・・・

嬉しさと同時に言葉の重みを感じました。

4月に会いましょう。待っています!